

法政大学 大学院のキャリア形成

法政大学大学院では、キャリアセンターを中心に、きめ細かなサポートを積極的に展開しています。日常的な就職相談はもちろんのこと、さまざまな形で就職活動を支援する企画・イベントを用意。学生の持っている資質・能力を最大限に引き出すことができるようなサポート体制をとっています。

Voice | 法政大学大学院の経験をさまざまなキャリアアップにつなげています。



法学研究科 法律学専攻
修士課程2014年度修了
株式会社 山川出版社 勤務
五味 良彬

自分自身の興味を突き詰めた2年間 その姿勢が評価されて現在の仕事と出会い、研究を継続

私は法政大学法学部政治学科で近代日本政治史のゼミに所属し、さらに学びを深めたいと考えて大学院に進学しました。法学研究科では、研究に思う存分打ち込む時間に恵まれ、法律そのものの形成過程や思想的背景を研究する法制史・法思想史を学びました。研究でのテーマの検証や追究を通して、分析能力・文章構成力が磨かれ、大学時代の学びだけでは実現できなかったと感じています。先生方も親身にサポートしてくださり、さらに修了後の今でも交流の中で助言をいただくなど、大変感謝しています。

現在は歴史の知識を生かし、教科書や参考

書の編集者として出版社に勤めています。予備校で働いていたこともありますので、少しでも分かりやすい本を読者の方に届けたいという気持ちで仕事をしています。ゆくゆくは沖縄の近現代史に関する本に携わりたいと考えていますし、これからも大学院時代の経験が生きてくると期待しています。

修士論文では、「天皇機関説」の美濃部達吉と対立した、大正・昭和期の憲法学者・上杉慎吉の思想的背景や論理を研究しました。その研究を深めるべく、今でも継続していますが、仕事でも、プライベートでも、私にとって学問に終わりはないと考えています。

キャリア形成サポート

キャリアセンターの方々には、就職活動に関するさまざまな相談に乗っていただきました。また、学内企業説明会に参加するなどして、就職活動に対するモチベーションを高めました。

日本でのキャリア形成という目標に向けて大学院へ入学 貴重な出会いに恵まれて夢が実現

私の叔父は法政大学に留学してからこれまで20年ほど、日本で大学教員を務めています。その影響もあり、日本の金融業界に就職したいと考えていた私は、中国・福建省の福州大学を卒業後、日本語学校を経てから経済学研究科に進学しました。大学院では計量経済学や統計学を学びつつ、修士論文として、日本と同様に少子高齢化が深刻化しつつある中国の社会保障制度について研究を深めました。本研究科には金融業界に勤める社会人の方も在籍しており、業務の話はもちろん、就職活動のアドバイスをいただいたり、模擬面接を実施していただいたりと、留学生として若干

の不安を感じていた私にとって非常にありがたい存在でした。そういった社会人の方々とは卒業後も交流が続いており、法政大学大学院に進学したからこそ、仕事におけるキャリアを形成していくうえでの重要な出会いに遭遇できたと実感しています。

現在は企業年金を扱う部署に在籍しており、そこでのスキルを積んだ後には、資産運用に関する業務を手掛けたいと考えています。海外出身者というメリットを生かして海外事業に携わり、現地向け商品の開発に関わることも視野に入れ、ゆくゆくは大学院での研究成果を業務に役立てるつもりです。



経済学研究科 経済学専攻
修士課程2013年度修了
明治安田生命保険相互会社 勤務
伊 如(イジョ)

キャリア形成サポート

就職活動において、キャリアセンターの方々には大変お世話になりました。数多くの情報やアドバイスをいただくと同時に、志望動機などの履歴書を添削していただき非常にありがたかったです。

キャリアセンターがきめ細やかなサポートを展開しています。

主なサポートプログラム

■ 専門スタッフによる就職個別相談



経験豊富なキャリアセンター職員、キャリアアドバイザーといった経験豊かなスタッフが親身になって、キャリアに関する相談や就職活動について、1対1の個別相談を行っています。

■ 学内企業説明会



有名企業や優良中堅企業など法政大学・大学院の学生に対し採用意欲の高い企業が年間約1,000社参加しています。この説明会をきっかけに内定を得た方も数多くいます。業界や企業選択の視野を広げ、理解を深める絶好の機会です。

■ 学内で行われる選考会



キャンパス内で開催される企業説明会と同日に一次選考にも参加できる企業選考会を複数回行っています。開催日時・参加企業などはキャリアセンターホームページにて随時告知しています。

■ 他大学合同 模擬グループディスカッション



他大学の学生と合同で、グループディスカッションやグループ面接を体験できる、貴重な機会です。法政大学・青山学院大学・中央大学・明治大学・東京工業大学・横浜国立大学・立命館大学などが参加しています。

■ 模擬面接会



企業の採用試験で、最も重要視されている面接試験。各業界約100社の人事採用担当者からご協力いただき、実践しながらの面接を行います。採用担当者から直接講評をいただけるため、毎年人気のイベントです。

■ OBOG、社会人との交流



「OB・OG交流会」「OB・OG座談会」など、卒業生と就活生との交流を促進しています。多くの社会人と接することで、さまざまな業界・企業情報や実際の業務内容、働く上での心得などを身近な距離で学ぶことができます。

法政企業人コミュニティ(法政BPC*)

本学卒業生を中心とした継続的なキャリア形成支援を実現する 独自のコミュニティを展開

法政BPCは、組織的・持続的な卒業生による学生へのキャリア形成支援と、卒業生同士の交流を目的としたコミュニティとして2012年7月に発足しました。法政大学キャリアセンターと卒業生の代表が事務局を担い、各業界から参画する加盟企業90社の若手・中堅卒業生有志とともに、学生と現役社会人の交流の場を提供しています。

フリートーク形式でざっくばらんに仕事や就職について語り合う「FIRST CONTACT ~初めてのOB・OG訪問~」や、座談会形式で業界(企業)について語り合う「業界本音トーク」など、本学独自の学生サポート施策を継続的に実施しています。

*BPCは、Business Persons Communityの頭文字です。

学校推薦(理工系)

理工系特有の 学校推薦応募も実施

学校推薦は理工系特有の応募方法です。企業から大学院へ、研究科・専攻単位で学生の推薦依頼が来る場合があります。こうした企業に対しては、研究科・専攻単位で選考会を行い、企業ごとに推薦する学生を決定します。比較的合格率が高い学校推薦ですが、受験する企業は、第一希望の企業となるため、自由応募以上に企業研究などの準備を行う必要があります。

理工系

大学院進学の特長

1 基礎学力・知的体力の向上

大学院での講義および研究を通して、基礎科目・関連科目の本質的な理解や創造性が育成され、多角的な視野から専門分野の知識・理解が深まり、技術者・研究者としての資質が向上します。

2 横断的な学問領域の把握による エンジニア総合力向上

これからの持続可能で環境にやさしい国際的なエンジニアには、専門分野のみならず関連分野の知識や学問領域での実践的経験が必要であり、大学院での学びは必須です。

3 研究に関する専門的およびグローバルな体験

大学院における研究成果の専門・関連分野での国際会議、シンポジウムおよび交流会等でのポスターセッションやプレゼンテーション発表により、国際的な研究交流の体験が可能です。

4 職業選択自由度の向上

大学院での研究や講義による経験を生かすことにより、研究職や技術職へのキャリアパスのチャンスが広がり、専門分野を含む関連企業、各種研究所等、就職の幅が広がります。

5 研究成果の発表および修士・博士論文執筆を通じた、 研究およびキャリアスキルの向上

論文投稿の準備や修士・博士論文作成により、研究力や問題点の把握能力が育成され、また、英語レベル、プレゼンテーション能力やリーダーシップ能力の向上により、就業スキルがアップします。